

2019年度入社式 社長挨拶(要旨)について

山陽特殊製鋼株式会社(社長 樋口眞哉、本社 兵庫県姫路市)は、2019年4月1日に本社講堂にて2019年度入社式を挙げていたしました。

入社式における社長挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

『ご安全に！』

当社の社員の間では、互いの安全を期する意味を込めて、このような挨拶を交わしています。

製造業の現場では、何よりもこの「安全」と「健康」を第一に考えなければなりません。当社における仕事の優先順位は、「安全>品質>納期>数量>コスト」と決めています。皆さんも、本日からそういった会社の一員になったことを認識してください。

そのうえで、山陽特殊製鋼を代表して、当社の一員となられたことに心よりお祝いを申しあげます。

皆さんが入社された山陽特殊製鋼は、世界の特殊鋼業界でも一目置かれる存在です。

当社が生み出す特殊鋼製品は、自動車、鉄道、航空機をはじめ、建設機械、産業機械、ロボット、風力発電装置など、世界で幅広く使われ、世界最高品質との評価を受けています。

皆さんは、その世界一のものづくりの会社の一員として、誇りに満ちたプロフェッショナルとしてのキャリアを踏み出されたわけであります。

新たな、そして、大きな一歩を踏み出された皆さんにとって、この2019年は大きな節目の年ですが、当社にとりましても、歴史に残る特別な年となります。

皆さんが入社されるわずか4日前の3月28日、当社はスウェーデンの特殊鋼メーカー「Ovako社」を子会社化し、全世界をカバーする一大特殊鋼メーカーとなりました。同時に、日本製鉄(株)の子会社となり、今後、日本製鉄グループという強固な事業基盤のもと、当社の優れた技術力を世界の市場に発信し、「高信頼性鋼の山陽」をグローバルブランドとして確立していくことが、全社員が関わるべき重要なミッションとなります。皆さん一人ひとりが、世界中で信頼されるプロフェッショナルになっていただかなければなりません。

そのためのちょっとした心がけを2点お話しします。

ひとつは、皆さんが心身ともに良いコンディションで仕事に臨んでいただきたいということです。このことは、私が「安全と健康」を第一に考えているということにも通じます。今日から皆さんが心身ともに良いコンディションをキープして安全で健康に会社生活を送り、「高信頼性鋼の山陽」ブランドを支える存在へ育っていかれることを期待しています。

もうひとつは、大いなる気概を持って仕事に臨んでいただきたいということです。今後、当社は、グローバルマーケットに身を置き、熾烈な競争を勝ち抜いていかなければなりません。そのため、将来を見据えて大胆な生産構造改革を進めているところです。

「平成」が終わり、新たな時代の幕開けを迎える今年、当社も国内外の新たなステージで大きく動き出します。まさにそのタイミングで入社された皆さんには、上司や先輩の指導も得ながら、若い力を存分に発揮していただきたいと思います。

本日入社された皆さんが、若い力をのびのびと発揮して、当社発展の原動力として活躍されることを心から祈念し、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

山陽特殊製鋼株式会社

代表取締役社長 樋口 眞哉